

崇城大学（中山峰雄学長、熊本市西区）ものづくり創造センター（通称・SUMIC）は八月六日（月）、同大の学生を対象とした「第二回崇城ドローン・コンテスト＆操縦教室」を開催した。これは、今注目を集めているドローンの面白さに触れてもらうことを目的

「操縦教室」も実施

としたもの。学生たちが試行錯誤しながら、ドローンをいかにコントロールできるかを競うことで、専門分野への学習意欲を高めると同時に、学びの理解を深める機会となっている。コンテスト終了後には、ドローン操縦教室も実施。操縦教室とコンテストの観覧は一

ドローン・コンテスト

般の人も参加した。

崇城ドローン・コンテ

ストは、三～五人から成るチーム形式で、今回は昨年を上回る九組がエントリー。機体の俊敏性などを必要とするタイムレース競技、救援物資輸送の正確性などを必要とするミッション遂行競技の二種目で競い合った。そ

崇城大学のSUMIC

れら二種目の合計点で総合優勝を決定、各種目の一位とユニークデザイン賞も表彰された。

使用するドローンは自作もしくは市販品にひと手間加えたものに限るというルールの下、各チームが救援物資投下のクリアに工夫を凝らしたドローンを持ち寄った。